

神話シアターと神話・伝説の回廊

島根県の出雲地方は、日本最古の神話の舞台であることから、「神々の国」「神話のふるさと」と呼ばれています。博物館のこのコーナーでは、古代出雲にまつわる神話や、出雲大社に祀られている神々について学ぶことができます。シアターでは、4本の短編映画（1本約20分）を交互に上映しており、シアター入口で無料配布している携帯型電子機器で、シアターの内容を英語で解説しています。

上映作品は、「オオクニヌシ神話」「スサノヲ神話」「風土記神話」「中世のヲロチ神話」の4つの物語です。前3作は、8世紀の古事記、日本書紀、出雲国風土記の3冊に基づいています。「中世のヲロチ神話」は、1523年に書かれた物語に基づいています。

神話と伝説の回廊では、これらの神話がどのように伝えられてきたのか、注釈書や、登場人物や場面を描いた作品などを展示しています。回廊の壁や天井には、恐ろしい仮面や巨大なドラゴンのような大蛇が飾られています。神楽では、これらと似た衣装や小道具を使って再現されています。天井に吊るされている龍のようなものは、スサノヲノミコトが最初に出雲に着いたときに退治した八岐大蛇（ヤマタノオロチ）です。この物語の詳細と日本の創世記は、シアター「スサノヲ神話」に描かれています。